

首都圏における MSM に対する検査提供と介入の効果評価

研究分担者：塩野徳史（大阪青山大学 健康科学部看護学科 准教授）

研究協力者：金子典代（名古屋市立大学大学院看護学研究科）

岩橋恒太 木南拓也、藤原孝大、鈴木敦大 荒木順（特定非営利活動法人 akta）

星野慎二、宮島謙介（特定非営利活動法人 SHIP）

研究要旨

1. 東京地域

総計 95 キットを配布した。コミュニティセンター akta での対面配布のみであった。予約サイトを活用し、密を避けて受付対応を行った。

アンケートに回答したものは 118 名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは 79 名であった。96.2% が結果サイトにログインしていた。HIV 陽性件数は 1 件、梅毒の陽性件数は 15 件（既感染も含む）であった。陽性者は病院に受診が繋がったことを確認した。検体を郵送した 79 名のうち、71 名（89.9%）はアンケート結果との連結に同意していた。

アンケートに回答し、かつ検体郵送した者 71 名の属性については、35 歳未満が 52.2% を占めた。東京都の居住者が 73.2% であった。生涯初の検査経験割合は 8.5% であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 56.3% であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 33.8% を占めた。

2. 神奈川地域

総計 160 キットを配布した。コミュニティセンターでの対面配布 75 件、WEB での配布が 85 件であった。貸し会議室等の配布会場を借りるなどし、密を避けて受付対応を行った。

アンケートに回答したものは 178 名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは 137 名であった。95.6% が結果サイトにログインしていた。HIV 陽性件数は 3 件（うち 1 件は確認検査受検の確認済み）、梅毒の陽性件数は 27 件（既感染も含む）であった。検体を郵送した 137 名のうち、121 名（88.3%）はアンケート結果との連結に同意していた。

アンケートに回答し、かつ検体郵送した者 71 名の属性については、35 歳未満が 46.3% を占めた。神奈川県内の居住者が 60.3%、東京都の居住者が 29.8% であった。生涯初の検査経験割合は 25.6% であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 66.9% であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 52.1% を占めた。

A. 研究目的と背景

先行研究から、HIV 検査の選択肢を増やすことは、検査行動の促進につながるが、保健所の HIV 検査は非常に重要であるが、地方都市や平日に保健所に来所できないクライアントには時間の都合や距離の遠さから不便さも伴う。また令和 2 年 2 月からの新型コ

ロナ感染症拡大に伴い、保健所での検査提供は 7 割以上減少となっている。この減少を埋めるためにも新たな検査機会での補完が急務となった。そこで、東京地域では、自己採血の DBS 検体を送付しスクリーニング検査を受けるゆうそう検査をコミュニティセンター akta での対面で配布した。神奈川地域では、コミュニテ

イセンター、貸し会議室等の会場を借りての対面配布、WEB 配布を実施した。MSM が利用しやすい HIV・梅毒の検査の選択肢を増やし、期間集中で配布し、検査普及における有効性の評価を行う。

B. 研究方法

1. 東京地域

コミュニティセンターakta において、本プロジェクトに関する説明事項を含むウェブサイト <https://akta.jp/pt/> を開設した。コミュニティセンターでの対面型配布のみとした。公式ホームページ、公式 Twitter で広報を行った。

検査キット受け取り希望者はコミュニティセンターに直接来館し、その場でアンケートに答えてもらい、アンケート回答後にコミュニティセンタースタッフが検査に関して説明をして、最後に受け渡す方法をとった。来場者には、①検査キット、②確認検査を受けられる施設情報シート、③アルバ作成 梅毒検査の意味、④ふれいす東京 サポート情報カード、⑤梅毒啓発資材、⑥南新宿移転についての情報、の 6 種類の資材を配布した。

なお、コロナ対策のため、予約制を採用し、ウェブの予約システムを導入して予約制。緊急事態宣言下のため、16～19 時で配布した。2 レーンで各人 15 分程度、1 日 24 枠とした。

2. 神奈川地域

コミュニティセンターでの対面型配布は 200 件を予定した。

かながわ県民センターの会場を借り、12 月～3 月まで 7 日間の配布予定を立てた。会場の予約時間は 17～21 時、配布受付時間 18～20 時とした。予約制をとることとし、WEB または電話による事前予約とした。2 週間前から 10 分間隔で時間指定予約できる仕組みとした。

緊急事態宣言のため、かながわ県民センターが 12 月と 1 月初回しか使用できず、他の会場を西区福祉保健活動拠点・フクシヤを借り、2 月末の 3 回に分けて配布した。

配布スタッフは、統括予約受付 1 名、配布担当としてもう 1 名を配置することとした。

なお、本研究は名古屋市立大学看護学部研究倫理審査委員会に設置された倫理審査委員会により承認を得た。

C. 研究結果

1. 東京地域

1) 検査キットの配布日・配布件数

2 月 15 日、22 日、3 月 1 日、8 日の 16 時～19 時

表 1 郵送検査利用者の概要（東京）

	地域	
	CBO	NPO法人akta
	コミュニティセンター	
a 配布数	95	
b 受検者アンケート回答者数	118	
c 利用者数；郵送検査会社での受付数	79	
利用率；配布数に占める利用者数(c/a)	83.2%	
d 結果確認者数；結果画面のログイン記録（割合 d/c）	74 (93.7%)	
抗体検査結果		
<input type="checkbox"/> HIV感染症		
e 判定不能者数（割合 e/c）	0 (0.0%)	
f 陽性数（割合 f/c）	1 (1.3%)	
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*	1.2 (1.5%)	
<input type="checkbox"/> 梅毒		
g 判定不能者数（割合 g/c）	3 (3.8%)	
h 陽性数（割合 h/c）	15 (19.7%)	
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*	6.7 (8.8%)	
i 追跡可能者数；無料ID使用者数（割合 i/c）	71 (89.9%)	
j 追跡可能者実数；無料ID使用者実数（割合 j/c）**	68 (86.1%)	

* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者実数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、（利用者数-判定不能者数）に乗じて求めた。

** j)追跡可能者実数は、i)追跡可能者数から判定不能だった人を除いたもの。

*** すべての集計より再受検の重複は除いた。

2) 検体の送付状況とアンケートの結果

アンケートに回答したものは 118 名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは 79 名であった。96.2%が結果サイトにログインしていた。

HIV 陽性件数は 1 件、梅毒の陽性件数は 15 件（既感染も含む）であった。陽性者は病院に受診が繋がったことを確認した。検体を郵送した 79 名のうち、71 名（89.9%）はアンケート結果との連結に同意していた。

アンケートに回答し、かつ検体郵送した者 71 名の属性については、35 歳未満が 52.2%を占めた。東京都の居住者が 73.2%であった。生涯初の検査経験割合は 8.5%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 56.3%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 33.8%を占めた。

3) 実施しての振り返り

①予約について

- ・ 予約制にすることで来る人数の想定がしやすかった。
- ・ 時間通りに来る人、”連絡なく”早く来すぎる人、15 分以上遅く来る人などコロナ

対策の意味が伝わっていないことを考えさせられた。

- ・ 予約できる開始日を開催日に近くする方がよい。
- ・ 今後は、遅い時間でも受け取れるようにするとよい。
- ・ アンケートで発行された ID を紛失してしまった方が来た。

②配布時の説明について

- ・ スムーズに終われば 5 分もかからなかったのですが、次回は 10 分で回せたらもう少し配れる人数も増える。
- ・ HIVcheck と同じと思っている人が数人いたので、HIVcheck との違いや、今回のゆうそう検査でのポイントを押さえて説明する必要を感じた。
- ・ 使う資料と説明する内容が多い。今回は全員が初回受け取りとなるため、丁寧な説明にしているが、次年度以降リピーター対応含め、短縮バージョンもあった方がいいと感じた。
- ・ 説明を欲している人もいれば欲していない人もいると感じた。丁寧に説明すればするほど滞在時間が長くなる。
- ・ 何らか以前も受けていることがわかる仕掛け(会員証のようなもの)をつくれなにかと思った。
- ・ 受付業務を事務スペース等で仕事をしながらできるぐらいに簡略化できると、より継続性のあるものになる→ipad を使用し、受付処理をする等が考えられる。
- ・ タブレットなどで極力簡略化する。
- ・ 滞日外国人の人から、ランセットの使用のところで理解度の確認の必要があった。
- ・ 結果までの日数は関心が高い
- ・ 梅毒の検査の意味についての関心も高い
- ・ アルバ側の確認検査が必要になった場合の表示内容について、班会議での各地域からの意見をもとに修正作業を行い対応できたのが良かった
- ・ 確認検査を受けられる場所として、クリニックの数を拡大した。全部で 17 施設の情報を紹介している。
- ・ 確認検査の説明で、確認検査まで無料を希望したものについては、都の検査室を案内した。

③相談について

- ・ 相談できる機会をどう考えるか、第何週という形で固定するか、常駐にするのか、な

ど。予約制でもニーズがあることがわかった

- ・ 今回は結果的に 1 人に固定となった。相談員の多様性もある方がよい。
- ・ HIVcheck のように相談員が今日は居ないけれど、相談したい場合はどうしたらよいか?という質問があった。

④コロナ対策・akta のレイアウトについて

- ・ スタッフが慣れると会場準備で忘れてしまうこともあるため、チェックリストを作成した
- ・ パーテーションの消毒。ペーパータオルでの消毒は、見た目が汚くなるため、何か他の方法で消毒できるとよい。
- ・ 二丁目や akta に久々に来てくれた人へ、akta にある情報をみてもらう工夫の検討が必要である。

4) 準備と配布のスケジュール

- ① 12 月 確認検査が必要になった場合のアルバ側表示ウェブサイトの内容を検討した。
- ② 1/21(木) 中四国でのクリニック検査を展開している川崎医科大 和田先生にクリニック検査について医療機関側とのコミュニケーションについてアドバイスをもらう
- ③ 1/29(金) ゆうそう検査キットが納品 → 検品
- ④ 1/31(日) 医療機関に確認検査先として紹介する手紙を発送
- ⑤ 2/5(金) akta ゆうそう検査 ウェブサイト・予約システム 校了 → SNS(twitter、facebook)での広報開始
- ⑥ 配布対応スタッフトレーニング①
- ⑦ 2/8(月) 配布対応スタッフトレーニング②(以後、各配布会前に練習時間を設ける)
- ⑧ 2/12(金) アプリ広告にポップアップバナー掲載を開始した。
- ⑨ 2/13(土) 予約分がすべてうまったため、急遽アプリ広告のバナーを取り下げした。
- ⑩ 2/14(日) アウトリーチ … 予約はうまってしまったが、二丁目にやっていることを説明するため実施した。
- ⑪ 2/15(月) 配布会を実施した。
- ⑫ 3/8 に臨時配布会を企画した。
- ⑬ 以後、2/22、3/1 に予定の配布会を実施。3/ 8 に臨時配布会を実施。

2. 神奈川地域

1) 検査キットの配布日時・配布件数

①かながわ県民センターでの配布

- ・ 第1回：12月18日（金） 定員16名、予約8名、配布7名
- ・ 第2回：1月8日（金） 定員16名、予約4名、配布3名
- ・ 感染対策として、配布テーブルが複数あり、1台は資材置き場で、2台は説明用として交互に使用した。コロナ対策のために一人の説明が終わるごとにテーブルを消毒した。

②西区福祉保健活動拠点・フクシヤでの配布

- ・ 第1回：2月21日（日） 定員27名、予約27名、配布22名
- ・ 第2回：2月23日（祝） 定員27名、予約24名、配布19名
- ・ 第3回：2月28日（日） 定員27名、予約21名、配布15名
- ・ 上記予約については、すぐ予約テイン枠が埋まる状況であった。

③SHIP にじいろキャビンでの配布

- ・ 第1回：3月8日（月）18:15～20:00 定員8名、予約1名、配布数1名
- ・ 第2回：3月9日（火）17:00～20:00 定員13名、予約3名、配布数3名

表2 郵送検査利用者の概要（神奈川）

	地域 神奈川	
	CBO	NPO法人SHIP コミュニティセンター
a 配布数	160	
b 受検者アンケート回答者数	178	
c 利用者数；郵送検査会社での受付数 利用率；配布数に占める利用者数(c/a)	137	85.6%
d 結果確認者数；結果画面のログイン記録（割合 d/c）	131（95.6%）	
抗体検査結果 *重複感染（1名）		
<input type="checkbox"/> HIV感染症		
e 判定不能者数（割合 e/c）	4（2.9%）	
f 陽性数（割合 f/c）	3（2.3%）	
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*	3.5（2.6%）	
<input type="checkbox"/> 梅毒		
g 判定不能者数（割合 g/c）	4（2.9%）	
h 陽性数（割合 h/c）	27（20.3%）	
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*	9.0（6.8%）	
i 追跡可能者数；無料ID使用者数（割合 i/c）	121（88.3%）	
j 追跡可能者実数；無料ID使用者実数（割合 j/c）**	117（85.4%）	

* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者実数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、（利用者数-判定不能者数）に乗じて求めた。

** j)追跡可能者実数は、i)追跡可能者数から判定不能だった人を除いたもの。

*** すべての集計より再受検の重複は除いた。

2) 検体の送付状況とアンケートの結果

アンケートに回答したものは178名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは137名であった。95.6%が結果サイトにログインしていた。HIV陽性件数は3件（うち1件は確認検査受検の確認済み）、梅毒の陽性件数は27件（既感染も含む）であった。検体を郵送した137名のうち、121名（88.3%）はアンケート結果との連結に同意していた。

アンケートに回答し、かつ検体郵送した者71名の属性については、35歳未満が46.3%を占めた。神奈川県在住者が60.3%、東京都在住者が29.8%であった。生涯初の検査経験割合は25.6%であった。過去1年の検査経験がなかったものは全体のうち66.9%であった。MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は52.1%を占めた。

3) 実施しての振り返り

スタッフが大事なところにポイントをしばっての説明をされていたが説明のみでも7分程度必要であった。アンケートと動画をいれると、一人あたり15分程度必要であった。

当初は、ガイダンスの後でアンケートに答えてもらう予定であったが、待ち時間が生じてしまうため、途中から待ち時間にアンケートに回答してもらい、その後ガイダンスを行いキットの配布に変更した。

アンケートは対面でなくても回答できるため、今回はWEBで予約された時点で、アンケートのURLをメールでお送りし、事前に答えていただいても良いかと思われた。

キットの使い方のムービーを用意したが、スタッフがムービーを一緒にみながら、「温める・・・」「固定する・・・」などポイントを説明するとより分かりやすい上に、対面の良さが生かされてくると感じた。

検査キットをただ配布するだけだと、WEB配布方式のゆうそう検査キット受け取り枠に流れてしまうので、「なぜ今、対面で説明したうえでキットを配布しているか」という説明も最初に入れると良いと思われた。

確認検査の場所を、地域ごとにリストアップしておいたのが良いかと思う。その方が、判定保留になっても、その後確認検査を受けて医療機関にかかることできないと意味がないので、料金など丁寧に説明できるようにしておくのが大事と思われた。

梅毒の検査の説明は難しいので、今回はもう少し整理して臨む必要があった。

D. 考察

1. 東京地域

今年度は新型コロナウイルスの影響で、保健所での HIV 検査が休止になったところもあり、定期的に保健所で検査を受けていた人が、キットを受け取りに来ることがあったと考えられる。

郵送検査の方法および確認検査を受ける場所への誘導について口頭で説明する必要があると考え、akta では対面で配布する方法をとった。受検者と直接接することで、検査方法を詳細に伝えることができ、問い合わせに対してもその場で答えることで、受検者に対して安心感を与えることができた。私たち自身も受検者がどのような疑問を持っているかを知ることができた。

保健所の検査提供が少なくなっていることもあり、予約枠はすぐ埋まる状況であった。アンケートから、生涯初の検査経験割合は 8.5% であり、他地域より検査経験者が多かった。今後、どのような層にこのゆうそう検査を届けるかを考え、ターゲットを絞った広報、検査提供を考える必要がある。また、東京都以外にも様々な居住地の MSM がキットを受け取りに来る可能性があり、遠方から取りに来たものについての対応も今後検討する必要がある。

2. 神奈川地域

初めて郵送検査キットを配布する試みを神奈川で実施した。主スタッフと臨時で本プロジェクトのために一人このプログラム専用のスタッフの協力を、また東京 akta からスタッフの応援を得て実施した。HIV 陽性が 3 名判明し、うち 1 名は受診したことが確認できた。これまで予防啓発が届いていなかった層を受検に結び付けた可能性がある。確認検査の受検が確認できていないスクリーニング陽性者について、確認検査受検につながったのか、医療につながったかその後の経過の追跡について課題が残った。

E. 結論

東京地域では、HIVCheck を終えて 1 年以上あけての検査キットの配布を実施した。入念な広報や情報提供の準備を行い、対面型に限定し不安を軽減する努力をし、95 件配布ができた。

神奈川地域では、総計 160 キットを配布した。コミュニティセンターでの対面配布 75 件、WEB での配布が 85 件であった。貸し会議室等の配布会場を借りるなどし、密を避けて受付対応を行った。HIV 陽性が 3 名判明し、うち 1 名

は受診したことが確認できた。次年度以降、スクリーニング陽性者の医療へのつながりの向上のあり方についても検討する。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) ○Noriyo Kaneko, Satoshi Shiono, Adam O. Hill, Takayuki Homma, Kohta Iwahashi, Masao Tateyama, Seiichi Ichikawa: Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan, *AIDS Care*, 2020. DOI: 10.1080/09540121.2020.1837339
- 2) Ryohei Terao, Noriyo Kaneko (Equal contribution): Survey of School Nurses' Experiences of Providing Counselling on Sexual Orientation to High School Students in Japan. *International Journal of Adolescent Medicine and Health*, doi: 10.1515/ijamh-2019-0167. 2020.
- 3) ○金子典代, 塩野徳史: コミュニティセンターに来場するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. *日本エイズ学会誌*, 23(2), 2021.
- 4) ○宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代: MSM (Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一考察-ハッテン場利用経験のある女装者 2 名の事例から. *日本エイズ学会誌*, 23(1), 18-25, 2021.
- 5) ○金子典代, 塩野徳史: MSM を対象にした当事者主体の HIV 検査の取り組みと意義. *日本エイズ学会誌*, 22(3), 136-146, 2020
- 6) 今橋真弓, 金子典代, 高橋良介, 石田敏彦, 横幕能行: 名古屋市無料匿名性感感染症検査会受検者における性感感染症既往認識と検査結果. *日本感染症学会誌*, 31(1), 2020. doi:10.24775/jjsti.S-2019-0003

2. 学会発表 (国外)

- 1) Anand Tarandeep, Nitpolprasert Chattiya, Shirasaka Takuma, Iwatani Yasumasa, Yokomaku Yoshiyuki, Imahashi Mayumi, Kaneko Noriyo, Iwahashi Kota, Ikushima Yuzuru, Aoki Rieko, Ishida Toshihiko, Shiono Satoshi, Yamaguchi Masazumi, Takemura Keizo, Iwamoto Aikichi: HIV Prevention among MSM in JAPAN: Current Opinions on Achieving the First 90 among Japanese MSM. The

International Congress on Drug Therapy
in HIV Infection(HIV Glasgow 2020),
Glasgow, 2020.

3. 学会発表 (国内)

- 1) 金子典代:U=U をめぐる陽性者と HIV 予防対策と医療者のあり方について. 日本エイズ学会シンポジウム, 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
- 2) 林田庸総、柏木恵莉、土屋亮人、高野操、青木孝弘、瀧永博之、菊池嘉、岩橋恒太、金子典代: 乾燥ろ紙血による HIV Ag/Ab 郵送検査の検査ラボでの結果についての検討. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
- 3) 荒木順、金子典代、木南拓也、柴田恵、岩橋恒太、藤原孝大、鈴木敦大、小山輝道、高久道子、高久陽介、市川誠一、張由紀夫、生島嗣: ゲイバー等との連携による「LivingTogether のど自慢」の実践とその効果について. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
- 4) 井上洋士、後藤大輔、船石翔馬、高橋良介、塩野徳史、金子典代: 成人前期 (20 歳代) MSM での性行動と HIV・性感染症認識に関する面接調査研究. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
- 5) 高橋良介、末盛慶、金子典代、石田敏彦: NLGR+への参加状況と HIV 抗体検査受検経験の関連性. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020

G. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

表3 郵送検査キット利用別 基本属性および検査行動（東京）

	アンケート回答のみ		検査利用		合計		Pearson カイ2乗	
	n=47		n=71		n=118			
年齢階級								
	24歳以下	8	17.0%	6	8.5%	14	11.9%	0.28
	25-34歳	17	36.2%	31	43.7%	48	40.7%	
	35-44歳	9	19.1%	20	28.2%	29	24.6%	
	45歳以上	13	27.7%	14	19.7%	27	22.9%	
国籍¹⁾								
	日本	45	95.7%	67	94.4%	112	94.9%	1.00
	海外	2	4.3%	4	5.6%	6	5.1%	
居住地								
	群馬県	0	0.0%	1	1.4%	1	0.8%	0.06
	埼玉県	1	2.1%	9	12.7%	10	8.5%	
	千葉県	3	6.4%	4	5.6%	7	5.9%	
	東京都	33	70.2%	52	73.2%	85	72.0%	
	神奈川県	10	21.3%	5	7.0%	15	12.7%	
性別²⁾								
	男性	46	97.9%	71	100.0%	117	99.2%	0.40
	女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	トランスジェンダー	1	2.1%	0	0.0%	1	0.8%	
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
セクシュアリティ								
	ゲイ（男性同性愛者）	34	72.3%	62	87.3%	96	81.4%	0.05
	バイセクシュアル（両性愛者）	13	27.7%	9	12.7%	22	18.6%	
	ヘテロセクシュアル（異性愛者）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	わからない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	決めたくない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	レズビアン（女性同性愛者）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
居住形態								
	独居	30	63.8%	44	62.0%	74	62.7%	1.00
	同居	17	36.2%	27	38.0%	44	37.3%	
	定住先はない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
これまでのHIV検査（エイズ検査）経験								
	ある	35	74.5%	65	91.5%	100	84.7%	0.02
	ない（今回が初めての検査）	12	25.5%	6	8.5%	18	15.3%	
過去1年のHIV検査（エイズ検査）経験								
	ある	20	42.6%	31	43.7%	51	43.2%	1.00
	ない	27	57.4%	40	56.3%	67	56.8%	
過去1年の受検場所³⁾（複数回答）								
	保健所	4	8.5%	14	19.7%	18	15.3%	0.12
	病院/クリニック	4	8.5%	9	12.7%	13	11.0%	
	郵送検査	5	10.6%	6	8.5%	11	9.3%	
	その他	9	19.1%	6	8.5%	15	12.7%	
過去6カ月間の利用施設（複数回答）								
	ゲイバー	17	36.2%	24	33.8%	41	34.7%	0.85
	ゲイイベント	6	12.8%	5	7.0%	11	9.3%	
	ゲイショップ	5	10.6%	9	12.7%	14	11.9%	
	有料のハッテン場	18	38.3%	23	32.4%	41	34.7%	
	野外のハッテン場	6	12.8%	8	11.3%	14	11.9%	
	いずれもない	15	31.9%	24	33.8%	39	33.1%	

1) 海外の内訳は、アジア；台湾、韓国、タイ、インドネシア 欧米；フランス。

2) トランスジェンダーの内訳は、FTM。

3) 病院/クリニックは、病院、クリニック、診療所、医院など。その他には公的な検査機関、コミュニティセンターでの検査、イベントでの検査、海外の医療機関が含まれる。

表4 郵送検査キット利用別 性行動および予防行動（東京）

	アンケート回答のみ n=47		検査利用 n=71		合計 n=118		Pearson カイ2乗
男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか？							
よく/少し知っている	27	57.4%	47	66.2%	74	62.7%	0.44
全く/あまり知らない	20	42.6%	24	33.8%	44	37.3%	
過去6か月間に男性とセックスをしたことがありますか？							
ある	42	89.4%	69	97.2%	111	94.1%	0.11
ない	5	10.6%	2	2.8%	7	5.9%	
過去6か月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）							
彼氏や恋人	4	8.5%	11	15.5%	15	12.7%	0.40
友達やセクフレ	30	63.8%	50	70.4%	80	67.8%	0.55
その場限りの相手	30	63.8%	46	64.8%	76	64.4%	1.00
過去6か月間のインターネットやSNS、アプリを使って出会った人とのセックス経験							
ある	37	78.7%	65	91.5%	102	86.4%	0.06
ない	10	21.3%	6	8.5%	16	13.6%	
過去6か月間のハッテン場でのセックス経験							
ある	17	36.2%	26	36.6%	43	36.4%	1.00
ない	30	63.8%	45	63.4%	75	63.6%	
過去6か月間の複数人（3人以上）でのセックス経験							
ある	11	23.4%	22	31.0%	33	28.0%	0.41
ない	36	76.6%	49	69.0%	85	72.0%	
過去6か月間の相手にお金を払ったセックス経験							
ある	6	12.8%	4	5.6%	10	8.5%	0.19
ない	41	87.2%	67	94.4%	108	91.5%	
過去6か月間の相手からお金をもらったセックス経験							
ある	4	8.5%	3	4.2%	7	5.9%	0.43
ない	43	91.5%	68	95.8%	111	94.1%	
過去6か月間のセックス時のドラッグ（ラッシュ、ゴメオ、MDMA、大麻、覚せい剤、脱法ドラッグ）使用経験							
ある	0	0.0%	2	2.8%	2	1.7%	0.52
ない	47	100.0%	69	97.2%	116	98.3%	
過去6か月間のアナルセックス時のコンドーム使用							
非常用	33	70.2%	53	74.6%	86	72.9%	0.21
常用	9	19.1%	16	22.5%	25	21.2%	
過去6ヶ月間がない	5	10.6%	2	2.8%	7	5.9%	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」認知							
知っている	39	83.0%	62	87.3%	101	85.6%	0.60
知らない	8	17.0%	9	12.7%	17	14.4%	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」使用意図							
服薬したくない/どちらかといえば	10	21.3%	10	14.1%	20	16.9%	0.41
服薬したい/どちらかといえば	29	61.7%	52	73.2%	81	68.6%	
知らない	8	17.0%	9	12.7%	17	14.4%	
過去6か月間の「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」使用経験							
ある	5	10.6%	13	18.3%	18	15.3%	0.31
ない	42	89.4%	58	81.7%	100	84.7%	
性感染症既往（複数回答）							
梅毒	7	14.9%	6	8.5%	13	11.0%	0.37
A型肝炎	1	2.1%	3	4.2%	4	3.4%	1.00
B型肝炎	2	4.3%	6	8.5%	8	6.8%	0.47
C型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
クラミジア	5	10.6%	9	12.7%	14	11.9%	1.00
尖圭コンジローマ	2	4.3%	9	12.7%	11	9.3%	0.20
淋病	6	12.8%	6	8.5%	12	10.2%	0.54
HIV感染症	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
赤痢アメーバ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
毛じらみ	17	36.2%	21	29.6%	38	32.2%	0.55
性器ヘルペス	3	6.4%	2	2.8%	5	4.2%	0.39
その他	0	0.0%	2	2.8%	2	1.7%	0.52
いずれもない	23	48.9%	31	43.7%	54	45.8%	0.71

表5 郵送検査キット利用別 基本属性および検査行動（神奈川）

	アンケート回答のみ		検査利用		合計		Pearson カイ2乗	
	n=57		n=121		n=178			
年齢階級								
	24歳以下	10	17.5%	12	9.9%	22	12.4%	0.17
	25-34歳	15	26.3%	44	36.4%	59	33.1%	
	35-44歳	17	29.8%	44	36.4%	64	34.3%	
	45歳以上	15	26.3%	21	17.4%	36	20.2%	
国籍¹⁾								
	日本	54	94.7%	115	95.0%	169	94.9%	1.00
	海外	3	5.3%	6	5.0%	9	5.1%	
居住地								
	茨城県	1	1.8%	0	0.0%	1	0.6%	0.11
	埼玉県	2	3.5%	4	3.3%	6	3.4%	
	千葉県	1	1.8%	7	5.8%	8	4.5%	
	東京都	16	28.1%	36	29.8%	52	29.2%	
	神奈川県	34	59.6%	73	60.3%	107	60.1%	
	静岡県	3	5.3%	0	0.0%	3	1.7%	
	兵庫県	0	0.0%	1	0.8%	1	0.6%	
性別²⁾								
	男性	57	100.0%	119	98.3%	176	98.9%	1.00
	女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	トランスジェンダー	0	0.0%	2	1.7%	2	1.1%	
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
セクシュアリティ								
	ゲイ（男性同性愛者）	48	84.2%	92	76.0%	140	78.7%	0.24
	バイセクシュアル（両性愛者）	9	15.8%	29	24.0%	38	21.3%	
	ヘテロセクシュアル（異性愛者）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	わからない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	決めたくない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	レズビアン（女性同性愛者）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
居住形態								
	独居	31	54.4%	76	62.8%	107	60.1%	0.33
	同居	26	45.6%	45	37.2%	71	39.9%	
	定住先はない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
これまでのHIV検査（エイズ検査）経験								
	ある	40	70.2%	90	74.4%	130	73.0%	0.59
	ない（今回が初めての検査）	17	29.8%	31	25.6%	48	27.0%	
過去1年のHIV検査（エイズ検査）経験								
	ある	20	35.1%	40	33.1%	60	33.7%	0.87
	ない	37	64.9%	81	66.9%	118	66.3%	
過去1年の受検場所³⁾（複数回答）								
	保健所	6	10.5%	19	15.7%	25	14.0%	0.49
	病院/クリニック	7	12.3%	9	7.4%	16	9.0%	
	郵送検査	4	7.0%	5	4.1%	9	5.1%	
	その他	6	10.5%	14	11.6%	20	11.2%	
過去6か月間の利用施設（複数回答）								
	ゲイバー	8	14.0%	27	22.3%	35	19.7%	0.23
	ゲイイベント	1	1.8%	3	2.5%	4	2.2%	
	ゲイショップ	4	7.0%	10	8.3%	14	7.9%	
	有料のハッテン場	19	33.3%	41	33.9%	60	33.7%	
	野外のハッテン場	9	15.8%	7	5.8%	16	9.0%	
	いずれもない	29	50.9%	62	51.2%	91	51.1%	
							1.00	

1) 海外の内訳は、アジア；中国、韓国、ベトナム、フィリピン 欧米；アメリカ。

2) トランスジェンダーの内訳は、MTF、FTM。

3) 病院/クリニックは、病院、クリニック、診療所、医院など。その他には公的な検査機関、コミュニティセンターでの検査、イベントでの検査、海外の医療機関が含まれる。

表6 郵送検査キット利用別 性行動および予防行動（神奈川県）

	アンケート回答のみ n=57		検査利用 n=121		合計 n=178		Pearson カイ2乗
男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか？							
よく/少し知っている	32	56.1%	58	47.9%	90	50.6%	0.34
全く/あまり知らない	25	43.9%	63	52.1%	88	49.4%	
過去6か月間に男性とセックスをしたことがありますか？							
ある	51	89.5%	114	94.2%	165	92.7%	0.35
ない	6	10.5%	7	5.8%	13	7.3%	
過去6か月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）							
彼氏や恋人	15	26.3%	28	23.1%	43	24.2%	0.71
友達やセクフレ	32	56.1%	76	62.8%	108	60.7%	0.42
その場限りの相手	31	54.4%	57	47.1%	88	49.4%	0.42
過去6か月間のインターネットやSNS、アプリを使って出会った人とのセックス経験							
ある	46	80.7%	96	79.3%	142	79.8%	1.00
ない	11	19.3%	25	20.7%	36	20.2%	
過去6か月間のハッテン場でのセックス経験							
ある	20	35.1%	34	28.1%	54	30.3%	0.38
ない	37	64.9%	87	71.9%	124	69.7%	
過去6か月間の複数人（3人以上）でのセックス経験							
ある	11	19.3%	26	21.5%	37	20.8%	0.84
ない	46	80.7%	95	78.5%	141	79.2%	
過去6か月間の相手にお金を払ったセックス経験							
ある	0	0.0%	6	5.0%	6	3.4%	0.18
ない	57	100.0%	115	95.0%	172	96.6%	
過去6か月間の相手からお金をもらったセックス経験							
ある	2	3.5%	2	1.7%	4	2.2%	0.59
ない	55	96.5%	119	98.3%	174	97.8%	
過去6か月間のセックス時のドラッグ（ラッシュ、ゴメオ、MDMA、大麻、覚せい剤、脱法ドラッグ）使用経験							
ある	0	0.0%	2	1.7%	2	1.1%	1.00
ない	57	100.0%	119	98.3%	176	98.9%	
過去6か月間のアナルセックス時のコンドーム使用							
非常用	44	77.2%	83	68.6%	127	71.3%	0.09
常用	7	12.3%	31	25.6%	38	21.3%	
過去6ヶ月間がない	6	10.5%	7	5.8%	13	7.3%	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」認知							
知っている	39	68.4%	85	70.2%	124	69.7%	0.86
知らない	18	31.6%	36	29.8%	54	30.3%	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」使用意図							
服薬したくない/どちらかといえば	5	8.8%	15	12.4%	20	11.2%	0.77
服薬したい/どちらかといえば	34	59.6%	70	57.9%	104	58.4%	
知らない	18	31.6%	36	29.8%	54	30.3%	
過去6か月間の「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」使用経験							
ある	4	7.0%	8	6.6%	12	6.7%	1.00
ない	53	93.0%	113	93.4%	166	93.3%	
性感染症既往（複数回答）							
梅毒	8	14.0%	16	13.2%	24	13.5%	1.00
A型肝炎	2	3.5%	4	3.3%	6	3.4%	1.00
B型肝炎	5	8.8%	8	6.6%	13	7.3%	0.76
C型肝炎	0	0.0%	1	0.8%	1	0.6%	1.00
クラミジア	8	14.0%	9	7.4%	17	9.6%	0.18
尖圭コンジローマ	4	7.0%	8	6.6%	12	6.7%	1.00
淋病	6	10.5%	13	10.7%	19	10.7%	1.00
HIV感染症	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
赤痢アメーバ	0	0.0%	1	0.8%	1	0.6%	1.00
毛じらみ	16	28.1%	29	24.0%	45	25.3%	0.58
性器ヘルペス	0	0.0%	4	3.3%	4	2.2%	0.31
その他	0	0.0%	1	0.8%	1	0.6%	1.00
いずれもない	30	52.6%	58	47.9%	88	49.4%	0.63

資料 東京地域での配布実績

配布日	天気	予約数	実配布数	キャンセル (うち連絡なし)	相談件数	対応スタッフ
2021. 2. 15	雨のち 晴れ	24	19	5 (3)	0	受付：1名 説明対応：2名 全体：1名 バックアップ：1名
2021. 2. 22	晴れ	22	18	4 (2)	2	受付：1名 配布：2名 相談：1名 全体：1名 バックアップ：1名
2021. 3. 1	晴れ	22	15	7 (6)	2	受付：1名 配布：2名 相談：1名 全体：1名 バックアップ：1名
2021. 3. 8	小雨	26	21 (うち1件 は予約なし)	5 (2)	0	説明対応：2名 受付：1名 バックアップ：1名 全体：1名
その他① 2021. 3. 14	晴れ	2	2	1 (1)	0	説明対応：1名
その他② 2021. 3. 15	晴れ	1	1	0	0	説明対応：1名
その他③ 2021. 3. 21	嵐	1	1	0	0	説明対応：1名
合計		116	95	22 (14)	4	
				キャンセル割合 19.0% (12.1%)		

